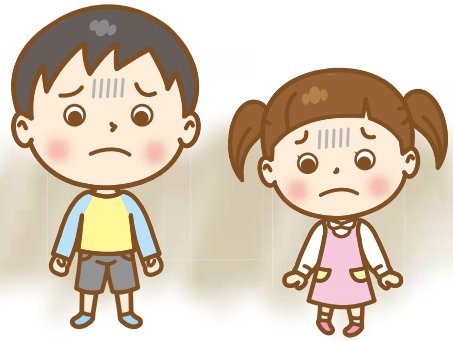


子どもの「困った」に気付く視点

生活上の困難がある子どもに見られる傾向を掲載していますので参考としてください。
あくまでも「気づき」の目安です。

🔍 衣服について

- 季節外れな服や、いつも同じ服を着ている。
- 衣服が身体のサイズに合っていない
- 衣服が洗濯されていないようで清潔ではない
- 身だしなみが整っていない



🔍 子どもの表情・態度について

- 表情が暗く、無気力な感じがする
- 落ち着きがなく、乱暴な態度をとる
- 家の話をしたがらない
- 誰かれなく大人に甘え、警戒心が薄い
- 親や大人の顔をうかがったり、親を避けようとする
- 過度な良い子

🔍 子どもの生活習慣や学校生活について

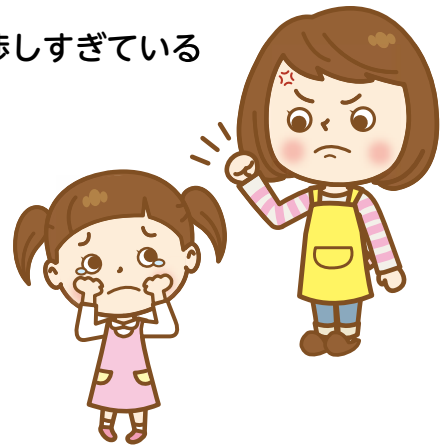
- 親の帰りが遅く、子どもだけで夜遅くまで過ごすことが多い
- 登園・登校時間がバラバラ
- 園や学校の持ち物がそろわない、忘れ物が多い
- 家に帰りたがらない
- 学校での授業があまり理解できていない、宿題ができていない
- 部活動に参加していない、又は途中で退部した(中学・高校)
- 毎日長時間ゲーム機で遊んでいる(貧困家庭もゲーム機を持っている場合があります)
- 進学・将来について悩んでいる
- 友達の輪に入らない

🍌 子どもの食事・健康について

- 虫歯が多い
- 入浴していないようで頭髪がベタベタしている
- オムツが汚れているのに長時間替えられていない
- 医療機関の受診が必要と思われるが受診していない
- いつも空腹の様子である、または子どもだけで食事をとっている
- 不定愁訴(頭痛・めまい・吐き気・腹痛などの訴え)を繰り返す

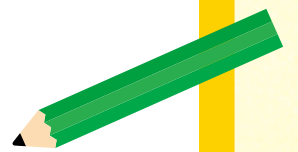
🍌 保護者の様子について

- 園や学校の行事に参加しない
- 子どもを校外学習や学校行事、地域行事などに参加させていない
- 小さな子どもを置いたまま外出している
- 子どもの養育に拒否的で無関心
- 子どもへのしつけが厳しすぎる、または過度に干渉しすぎている
- 育児や家事がつかう
- DVがある(あった)、または夫婦関係が良くない
- 親族や学校、地域との交流が無く孤立している
- 親子での会話が少ない



🍌 世帯の状況

- ひとり親世帯である
- 就学援助を受給している(小・中学生)
- 子どもが奨学金を受けている(高校生・大学生)
- 住宅環境が劣悪、または子どもが勉強する環境が整っていない
- 集金が遅れている、または支払えないことがある



POINT

上記のサインに当てはまるからといって、必ずしも「貧困」であるとは限りません。子どもへの支援には、日頃から困っていることを聞ける、困ったことを相談できる信頼関係を築いておくことが重要です。このリストは、困りごとを抱えている子どもの傾向を意識することで、早期に気づき、支援につなげるきっかけとなるよう活用してください。